

平成27年10月6日

## 朝礼講話

杉本君、藤原君、室田君、河崎さん、大取さんを始めテニス部の皆さん、入賞並びに県大会出場、おめでとうございます。

レスリングの時信君、剣道の中谷さんも、よく頑張りました。

今回の総体は、野球、女子バスケ、卓球部の応援に行きました。2年生を中心に頑張っていたのはもちろんですが、1年生がとてまたくましくなっていて驚きました。冬に鍛えたチームが夏の総体で勝つ。部活動の鉄則です。これから練習しにくい時期になりますが、1、2年がしっかり気持ちを合わせて頑張らしましょう。

ところで、10年ぐらい前に「ドラゴン桜」という漫画が人気になりました。山下智久さん、新垣結衣さんが出演したテレビドラマも人気でした。少しやんちゃな高校生が、先生の指導で力をつけ、東京大学に合格するという内容です。漫画の中の決めゼリフが評判になり、本にもなりました。勉強とスポーツ、全く違うようで実は共通していることがたくさんあります。いくつか紹介しますので、1・2年生は部活動、3年生は受験をイメージして聞いてください。

- ・蹴落とすことと競うことは全く違う。お前は真の競争を知らない。逃げてきたんだ。
- ・競争って、結局は自分との闘い。他人とじゃないってことだ。
- ・1位にこだわって競争しろ。1という数字のインパクトは、人間を劇的に成長させる力を持っている。
- ・学校ってのはな、言うなりや切符売り場だ。目的地までの切符は用意してある。それを決めて買って乗るのはお前らだ。
- ・例えば、スピードスケートは二人で滑走するのはなぜか。ライバルがいて、初めて互いにいい記録が出せる。受験もこれと同じ。一人では闘えないし、一人では勝てないのだ。互いに高め合い、ともに頑張る仲間がいて勝てるものなのだ。
- ・隣のやつ蹴落としたりしてなんになる。仲間失うだけだ。
- ・普段の勉強を、テストのリハーサルのつもりで勉強しているか。すべては東大受験、本番のためだ。スポーツ選手で、練習がうまくなるように練習する人はいない。試合に勝つために必死に練習するんだ。
- ・さっと、身支度をして即座に帰る受験生、こういうタイプは合格しやすい。逆にいつまでも教室に残って、周りの友達とおしゃべりをしたり、だらだらしている子はたいてい落ちる。
- ・目の前の問題を瞬間的に自動的に、機械的に、遊び感覚で解く。数学とはそういうものだ。
- ・基礎学習が全ての根源であり、まさに王道。まずは基礎をしっかり固めるのが、偏差値を上昇させる条件の一つだ。
- ・いいか、勉強とは合理性と効率性。つまり、脳と身体のマカニズムを相乗した科学的トレーニングだ。
- ・食事と睡眠をしっかりとって脳に疲れさせないことだ。その上で脳が効率よく吸収できるスケジュールを組む。これを間違ったら、幾ら机にかじりついてがむしゃらにやっても全く無意味だ。
- ・数学で点を取れば自分は頭がいいと思える。自信がつく。すると自然と他の教科にも取り組む意欲と気力が湧いてくるんだ。

10月10日の合唱祭も間近です。良きライバルである隣の学級と競争し、1位を目指して頑張らしましょう。楽しみにしています。